

立教法学

1994

論 説

手形行為の有因・無因をめぐる諸問題

——特に、取得者保護の主観的要件のあり方、

および、二段階説の適否—— …伊 沢 和 平

国際環境法の発展における「誓約と

審査」手続の意義 ……………兼 原 敦 子

資 料

「自己株式の取得及び保有規制に関する問題点」に
対する意見の提出について…………伊 沢 和 平

上 村 達 男

研究ノート

政治文化と市民宗教

——アメリカ市民社会論への展開——

……………越 智 敏 夫

わが国の電気通信事業における

基本サービスと付加価値サービス

……………舟 田 正 之

38

立 教 法 学 会